

情報元：南海日日新聞社
日付：令和3年1月8日

目標掲げ飛躍を期す

中高部活生、合同練習

奄美大島



合同稽古で立ち技や寝技の練習に取り組む参加者＝27日、奄美市名瀬

奄美大島などで26、27の両日、部活動の稽古納めや合同練習会があった。児童生徒たちは新型コロナウイルスの影響で各種大会が中止となった

今年を振り返り、来年に向けてさらなる飛躍を奮った。奄美市の金久、名瀬、朝日の3中学柔道部は27日、名瀬公民館伊津部分



講師のアドバイスを受けながら合同練習に取り組む生徒たち＝27日、奄美市等利町の太陽が丘総合体育館

館下の道場で合同稽古納めを実施。小学生と高校生を加えた15人が参加し、打ち込みや乱取りなど約2時間、練習に取り組み、最後は全員で道場

の大掃除も行った。初稽古は1月4日、金久中学校武道館で行う予定。(2年)は「コロナ禍で大会もなくなって寂し



12キロ走に取り組む生徒たち＝27日、奄美市の名瀬運動公園クロスカントリーコース

かったがその分、練習に力を入れてきた。来年の県新人戦では団体と個人の両方で優勝したい」と話した。

会人チームの指導を受け、午前10時から午後5時まで、みっちり練習を行い、ミニゲームで締めくくった。

た。今回の県新人戦の個人複では8強止まりだったので、来年はベスト4進出を目指したい」と飛躍を誓った。

大島、奄美、大島北の3高校バドミントン部は26、27の両日、奄美市の名瀬総合体育館と太陽が丘総合体育館で今年最後の合同練習会を行った。3校は今年8月から合同練習会を実施。今回は社

大島、奄美、大島北の3高校バドミントン部はハードだったが、その分レベルアップできた。来年度の県総体に向けて練習を続けたい」と話し、大島高の根金光平主将(2年)も「スマッシュの繰り出し方などが改善でき

大島と奄美、沖永良部の3高校陸上部も26、27の両日、奄美市の名瀬運動公園陸上競技場を拠点に強化練習会を実施。3校から約30人が参加し、短距離と長距離に分かれ汗を流した。

クロスカントリーコースを走り込んだ沖永良部高の山下健太郎さん(3年)は「県下一周駅伝の大島地区の選手として出場を目指したい」と話した。